

64. 経常収支比率

時点 昭和63年度
 単位 %

順位	都道府県名	数 値	順位	都道府県名	数 値
1	沖 縄	85.2	25	島 根	74.4
2	福 岡	82.1	26	石 川	74.3
3	青 森	81.9	27	埼 玉	74.2
4	鹿 児 島	81.7	28	◎千 葉	74.1
5	大 阪	80.5	28	和 歌 山	74.1
5	長 崎	80.5	—	全 国	73.8
7	奈 良	79.5	30	福 井	73.2
8	高 知	77.9	31	京 都	72.9
9	山 口	77.8	32	茨 城	72.8
10	秋 田	77.2	33	富 山	72.7
11	北 海 道	76.4	34	宮 城	72.3
12	宮 崎	76.1	35	鳥 取	71.8
13	兵 庫	75.8	36	広 島	71.6
14	神 奈 川	75.6	37	長 野	71.0
14	大 分	75.6	38	佐 賀	70.9
16	岡 山	75.4	39	新 潟	70.8
17	福 島	75.3	39	山 梨	70.8
18	福 馬	75.2	41	山 静 岡	69.2
19	栃 木	75.0	42	三 重	69.1
19	愛 知	75.0	43	香 川	68.8
21	岩 手	74.9	44	東 京	68.5
21	熊 本	74.9	45	滋 賀	67.6
23	山 形	74.7	46	岐 阜	65.8
24	徳 島	74.5	47	愛 媛	64.1

・資料 自治省「都道府県決算状況調」

摘 要

・経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断する指標の一つである。つまり、地方税、普通交付税を中心とする経常一般財源が、人件費、扶助費、公債費などのように、容易に縮減することの困難な経費にどの程度充当されているかによって、財政構造の弾力性、硬直度を判断しようとするものである。

・比率 = $\frac{\text{(経常経費充当一般財源)}}{\text{(経常一般財源収入額)}} \times 100$